

光星猛攻 逆転4強

第78回 秋季東北 高校野球

第3日



【金足農—八学光星】4回裏、八学光星1死満塁、新谷契が右越えの2点適時二塁打を放ち、7—3と引き離す＝花巻球場

つなぐ打撃 新谷契3打点

センバツ出場が見えてきた。八学光星は四回に一挙7点を奪つビッグイニングをいかにこなした。安打で10得点と打線が爆発。2年ぶりとなる4強に名乗りを上げた。2安打3打点と活躍した5番新谷契（せつな）は「序盤から点が取れない展開が続いて苦しかった打席が回ってきた。」

変化球狙いだったが直球に反応し、右越えの2点適時二塁打。「タイミングが少し早かったけれど、いいところに落ちてくれた」と振り返った。

甲子園出場を狙える環境を求め、3番に座る双子の弟翔磨（しょうま）とともに石川県から八学光星へ入学。自主練習も一緒につなぐなど、二人三脚で地道に取り組んできた。

初戦の2回戦では自身が無安打に終わった一方、翔磨が3点本塁打を放つなど気を吐いただけに、この日に懸ける思いは強かった。「仲はいいけど弟に負けたくなかった。」と力強く語った。（棟方好華）

第78回秋季東北地区高校野球大会は第3日の13日、盛岡市のきたさんボールパークと花巻市の花巻球場で準々決勝4試合を行い、4強が決まった。県勢は八学光星本県第1代表が四回に一挙7点を奪い、金足農（秋田第2代表）に10—4の逆転勝ち。八十二（本県第2代表）は延長十回タイブレークの末、花巻東宮手第1代表に3—4で敗れた。第4日の14日は同ボールパークで聖光学院（福島第1代表）—八学光星東北（宮城第2代表）—花巻東の準決勝2試合を行う。（佐藤正恒、棟方好華）

▽準々決勝（花巻球場）
金足農（秋田） 000210 0000 104
八学光星 000701 0000 104
（金足農） 斎藤 杉本 中嶋 武藤 岸田
（八学光星） 新谷契 2 鈴木 長野 安井（1）

【評】1点を追つ八学光星は四回、打者一巡の二塁打を放った。猛攻。新谷契の2点適時二塁打など5連打を含む7長短打で一挙7点を奪った。六回には佐々木が九回は継投した及川が無失点でしのいだ。

県勢きょうの試合

（左のチームが一塁側）

◇きたさんボールパーク

▷準決勝

聖光学院—八学光星（10・0）